

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月2日（金）

2 確認箇所

- ・覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）
- ・固体廃棄物貯蔵庫第10棟（図1）

3 確認項目

- （1）覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況
- （2）固体廃棄物貯蔵庫第10棟建設工事の進捗状況

4 確認結果の概要

（1）覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況

東京電力は、令和10年度中の水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外一時保管解消に向け、覆土式一時保管施設※（瓦礫類一時保管エリアL）に一時保管された瓦礫類を取り出し、金属容器へ収納した後、固体廃棄物貯蔵庫での保管を計画している。

当該エリア内には、第1～第4槽まで計4つの一時保管槽があり、今般、第4槽における第2層目（地中に埋設された瓦礫類を覆う覆土層が3層により構成されている。）の遮水シートが撤去され、覆土及び大型土のうの撤去作業が進められていることから、その進捗状況について確認した。（前回確認：令和7年2月20日）

- ・当日はゴールデンウィーク中のため、作業は行われていなかった。
- ・第4槽を覆うようにテントが設置され、第4槽は保護シートに覆われていた。（写真1）
- ・ダストモニタが設置されていたが、稼働しておらず、吸引口が閉じられていた。（写真2）
- ・空間線量率は0.4 μSv/hであった。（前回確認時：0.3 μSv/h）（写真3）
- ・目視で確認した範囲で、一時保管槽からの廃棄物の飛散・流出等の異常は見られなかった。

※ 覆土式一時保管施設

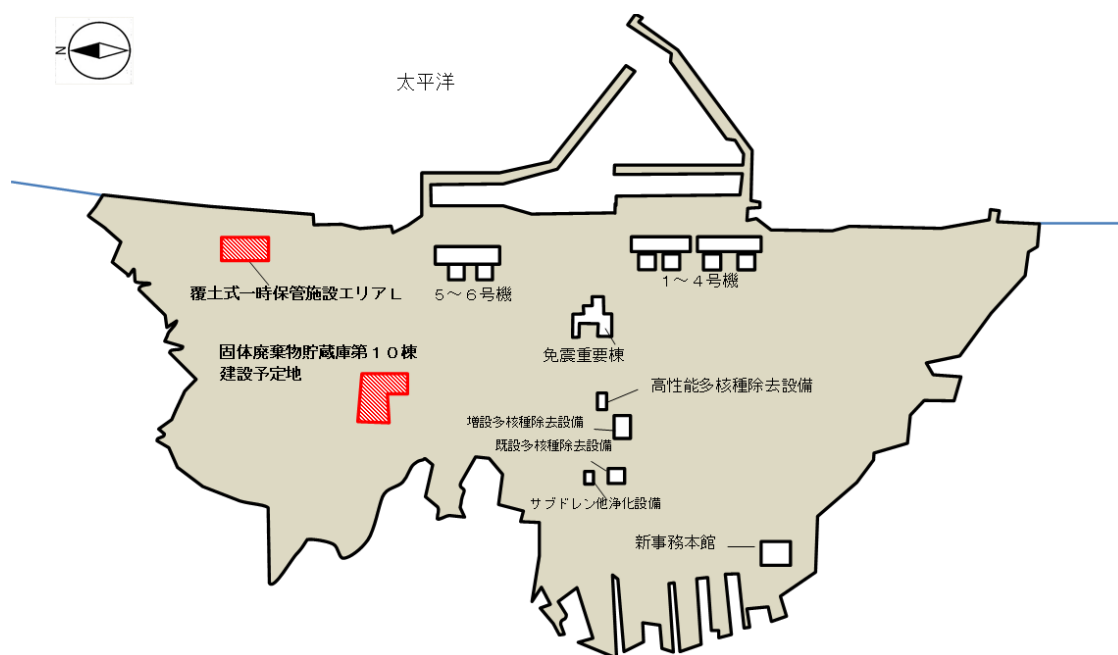
高線量（～30 mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。

(2) 固体廃棄物貯蔵庫第10棟建設工事の進捗状況

廃炉作業により発生する瓦礫類の屋外一時保管を解消するため、固体廃棄物貯蔵庫第10棟の建設工事が進められている。

このうち、第10-A棟は令和6年8月23日から、第10-B棟は令和6年10月29日から運用が開始されている。今回は、令和7年5月に運用開始予定である第10-C棟の状況について確認した。（前回確認：令和7年2月17日）

- ・現場確認時、作業は行われていなかった。
- ・第10-C棟の搬入口には、コンテナと工事用の資機材が運び込まれていた。（写真4）
- ・換気設備設置工事に係る足場が給気設備建屋と第10-C棟の間に組み立てられていた。（写真5）
- ・確認範囲において、建物の破損等の異常は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
第4槽の状況①
(北西側から撮影)



(写真 1－2)
第 4 槽の状況②
(北西側から撮影)



(写真 2－1)
ダストモニタの設置状況
(北側から撮影)



(写真 2－2)
吸引口設置状況



(写真 3)
線量表示器の設置状況
(当日の計測値：0.4 $\mu\text{Sv/h}$)
(南東側から撮影)



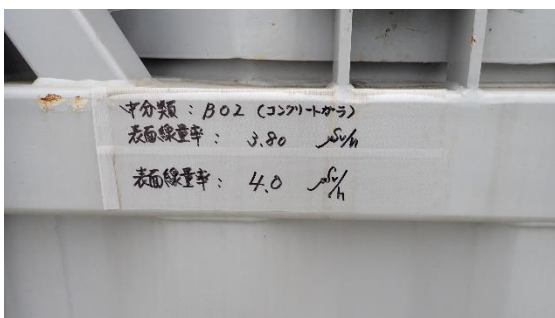
(写真4-1)
第10-C棟の外観①
(北西側から撮影)
(令和7年2月17日撮影)



(写真4-2)
第10-C棟の外観②
(北西側から撮影)
(令和7年5月2日撮影)



(写真4-3)
コンテナの設置状況①



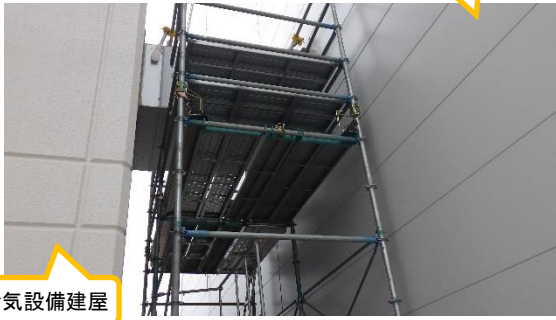
(写真4-4)
コンテナの設置状況②



(写真4-5)
資機材の設置状況

第10-C棟

給気設備建屋



(写真5)
換気設備設置工事に係る足場

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。